

夏野菜 ぼくもとりたい
手伝うと 野菜とらずに トンボとり

旭田小 四年 室井 悠佑
祖父 室井 三千徳

ちよっと待て いったいどれだけ 食べるんだ？
だいじょうぶ まだこのアイスは 三本目



江川小 一年 父 五十嵐 基光
母 五十嵐 央乃

ぼくがやる ちやわんはこびは とくいです
ほほえまし ねこよりましだ うちのぼく

江川小 一年 佐藤 兼心
祖父 佐藤 一夫

がんばる娘(こ) あなたは母(わたし)の メダリスト
金メダル 仕事帰りに 家事する母へ

江川小 六年 母 星 裕子
星 奈緒

自転車の 補助輪取れて うれしいな
心配を よそにあげ道 かつとばす

檜原小 一年 渡部 桃子
母 渡部 みゆき



パパママの めがねまっしろ おもしろい
炎天下の 遊園地 -20℃が こちよい

檜原小 一年 渡部 真平
母 渡部 薫

汗ながし 父に教わる 太鼓道
響き良し 和太鼓叩く 細い腕

檜原小 五年 岩澤 空
父 岩澤 修



アレやれと 言われず快適 お留守番
反抗期 ホルモンのせいと 言い聞かせ

檜原小 六年 佐藤 宥大
母 佐藤 郁

カワニナを あつめて早く ホタルこい
暗やみに 手の中ひかり 孫の笑み

檜枝岐小 五年 星 雪衣花
祖父 星 勇



夕はん前 プールでつかれて ねちやったよ
ごはんだよ 我が子の寝顔に 癒やされる

只見小 二年 小森 佑衣奈
母 小森 沙耶香

お空から ほしがいつぱい ふってくる
流れ星 メガネがなくて よくみえず

只見小 二年 目黒 夏穂
母 目黒 径子



ねむいのに ラジオ体操 行かなくちゃ
助かるな これがあるから 朝起きる

只見小 六年 佐藤 央崇
母 佐藤 美由紀

宿題は 母の助言で やる気出す
六年目 工夫加えた 諭し方

只見小 六年 新國 楓利
母 新國 由利

夏の夜 ほたるが来るか まちかまえ
にぎやかな 声におどろき とぶ蛍

朝日小 四年 渡部 美空
母 渡部 沙織



海の中 クサフグ見つけて 追いかける
地元(じも)ピーに 劣らずとけこむ 娘かな

朝日小 四年 藁谷 花活
父 藁谷 友活

毎日元気! 100%(パー)トマトで ジュース三昧
ママ作る トマトジュースは 天下一品

朝日小 四年 母 目黒 奈々子
目黒 きらり

だいこんよ ぼくの足より ふとくなれ
大根を まきし手伝い 孫の手で

朝日小 四年 堀金 康太
祖父 堀金 太一



お母さん とれたてトマトは おいしいね
成長し 大きな実になれ 子どもたち

明和小 二年 平野 七帆
母 平野 祥子



ママは辞書 知らない言葉 教えてくれる
間違いの ないよう辞書は 辞書をひく

明和小 六年 宇野 心晴
母 宇野 利江子

このスイカ 私の顔より 大きいよ
いつの間に あなたの顔も 中玉に

明和小 六年 平野 結菜
母 平野 祥子

祇園祭 福島の元気 よみがえる
家族との 会話で和む 我が心

田島中 一年 土橋 遠也
父 土橋 賢也

いも掘りで 疲れた後の ふかしいも
のど渴き トマトほおぼり ひと休み

田島中 一年 星 楓華
母 星 栄子



歓喜する 我が子の思い そのままに
あふれてる 選手的笑顔 金メダル

田島中 二年 利木 和幸
父 利木 成貴

和太鼓で 得られた絆 仲間の和
舞台袖で 太鼓演舞で 胸躍る

田島中 三年 大川 桃佳
父 大川 潤



グローブに 魂込めた 県大会
常連校 本当の敵は プレッシヤー

檜沢中 一年 星 伶奈
父 星 忠



おみやげと 思い出いっぱい 伊勢路旅
雑念が 消える参道 伊勢の杜

檜沢中 一年 平野 大地
母 平野 文江

最終日 いつも残るの 十七字
最終日 いつも残るの 通知表

檜沢中 二年 阿久津 空
父 阿久津 和隆

川に行き イワナを見つけ 格とうだ
手の傷は イワナゲットの 勲章だ

荒海中 二年 山口 裕太
母 山口 順子



いい勝負 バドミントンで 弟と
まけないぞ あにのスマッシュ うちかえす

荒海中 三年 室井 秀太
弟 室井 啓志



いつのまに 肩を並べて 背比べ
びっくりだ 母の身長 越したこと

荒海中 三年 星 春菜
母 星 真斗

風鈴とセミの鳴き声 演奏会
館岩の短い夏にこだまする



館岩中 一年 大河原 聖慈
母 大河原 希保子

夏休み「休み」がつくのに 休みが無い
休みなし 大人の階段 はじまりね



館岩中 一年 湯田 菜那葉
父 湯田 一彦

初海外 離れて分かる ありがたさ
バス着いて 輝く笑顔に 安堵する

館岩中 二年 芳賀 裕太郎
母 芳賀 久美

感謝して 洗車するから また来てね
部活動 応援いくよ 愛車でね

南会津中 一年 渡部 和子
母 渡部 征子

リ才終わり 甲子園終わり 夏終わる
夏終わり 新たな目標 新人戦

南会津中 二年 平野 勝
母 平野 さおり

まねれども 遠くおよばず 母の味
楽しみだ 今日夕食 祖母の家

南会津中 二年 馬場 ひとみ
母 馬場 音々

忙しさも 楽しい時の 記憶へと
去年より 短く感じる 夏休み

南会津中 三年 星 美恵
母 星 彩乃

気合い入れ 野球部みんな 「五厘」刈り
夢に見る 「五輪」で野球 子の姿

下郷中 一年 柳 怜央
父 柳 光市



年一度 近況報告 墓参り
孫たちと 団子を丸めて 先祖供養

下郷中 一年 湯田 悠斗
祖母 鈴木 淳子

夢の中 オリンピックで 金メダル
何もせず 取れるはずない 金メダル

下郷中 一年 五十嵐 琢真
母 五十嵐 紀子



雪祭り 姉は働き 俺遊ぶ
灼熱の 太陽溶かす 夏の雪

檜枝岐中 三年 姉 平野 猛
平野 まどか

墓参り 祖父母の思い出 よみがえる
手を合わせ 子どもの成長 伝えてみる

只見中 一年 母 平野 創士
平野 祥子

夏の日におそうじかけた 大富豪
大貧民 なんでこうなる 母弱し

只見中 一年 母 布沢 翔月
布沢 由起子

誕生日 子供の笑顔と プレゼント
母さんに 内緒で探した プレゼント

只見中 三年 母 角田 利恵
角田 海斗



夏休み これが最後の チームプレー
忘れない 一緒に舞台に 立てた事

只見中 三年 友 河原田 隼斗
布沢 陽斗

復興部門

いのちはね おみせにないよ たいせつだ
山や川 自然が教える 命かな

伊南小 一年 母 藤 実和
藤 岬

緑にね 赤がまじって 秋になる
大自然 五感で感じ 大きくなれ

伊南小 四年 母 佐野 美奈美
佐野 真奈美

花は咲く 立ち入り禁止 区域にも
響かせよう 僕らの歌声 被災地へ

江川小 三年 父 星 快人
星 正和

七色の トンネルくぐる 只見線
虹が出て 復興見える 只見線

明和小 五年 母 梁取 もも
梁取 綾

おもいのせ かみひこうきを かせにのせ
上を見て きれいな空が 笑ってる

田島中 二年 母 大塚 めぐみ
大塚 めぐみ



あの日から 絆が支えた この心
何気ない 日常の日々に 感謝する

南会津中 一年 馬場 匠人
母 馬場 純子

福島の名前を伏せて 届けます
父の野菜 百利あっても 一害なし

南会津中 三年 父 五十嵐 勝久
母 五十嵐 貴大

語っていこう 広島長崎 そして福島
原爆に 秘めた思いを 灯とともに

南会津中 三年 母 芳賀 理江
母 芳賀 優理

復旧の 願いを込めて 列車乗る
SLの 響けよ汽笛 いつの日か

只見中 一年 吉津 花恋
母 吉津 美紀



平成二十八年度の南会津域内の応募総数は一四七二作品で、県最終選考作品は、佳作を含め七点でした。
たくさんのご応募ありがとうございました。

編集 南会津教育事務所

「十七字のふれあい」に関するご意見・ご感想

- スマホやゲーム機、機器類あつての生活が当たり前の時代となつてしまつた中で、家族みんなで話し合い、考えることはとても必要なことだと思ひます。
- 夏の思い出の一つに「十七字」がいつもあり、今年はどうだったなあと、振り返るきっかけとなつています。
- 毎年親子で楽しく取り組んでいます。たくさんの作品を読むのも楽しみにしています。
- 6年間おじいちゃんやんが協力してくれました。この企画を毎回楽しんでくれていきます。下の妹、弟の分も…。まだがんばってもらいたいです。
- 毎年毎年十七字をやつていくと、子の成長が感じられ、とてもおもしろく思っています。
- 改めて日頃のお互いの存在の大切さがよくわかります。こういう機会はとても大事だと思います。
- ちよつとしたことも「家族の絆だったんだな」と改めて考えさせられる夏の恒例行事です。
- 子どもとの関係を考えるいい機会になり、改めて見直すことができました。とてもよい事業だと思うので続けていたきたいです。
- 今年度は復興部門もできて、より豊かに事業が発展していると感じました。
- 南会津で「復興」はピントとこないところがありました。が、もう一度震災を考える機会になりました。
- 初めて復興というテーマで取り組みました。中学生になった娘と改めて災害復興を考えるよい機会になりました。

※ここに掲載した以外にもたくさんのご意見をいただきました。本当にありがとうございました。